

ANNUAL REPORT 2016

2016年3月期

Develop a New Era by People and Technology

人と技術で次代を拓く

MEITEC

メイテックグループ

特色

メイテックグループの特色

1 正社員エンジニアの派遣業界最大手
〈業界最大の取引&業界最高の品質、先駆者〉

2 日本最大規模の「プロのエンジニア集団」
〈生涯プロエンジニア®を輩出するプラットフォーム〉

3 お客さまは、約1,000社の日本の大手製造業
〈創業以来延べ4,000社超〉

経営理念・経営方針

メイテックグループの経営理念

共生と繁栄

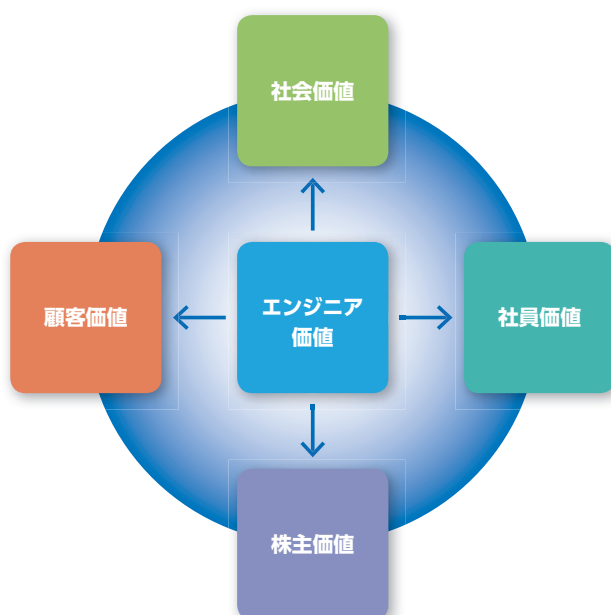
基本的概念

メイテックグループが行うEO事業を通して
経営資源(人・情報)を社会的に共有することにより、
産業界と共に発展していく。

メイテックグループの経営方針

【メイテックグループの「目指すべき姿」】

私たちメイテックグループは、全社員つながり合い、エンジニア価値を起点として、5つの価値を持続的に向上させます。



① エンジニア価値

豊かな「エンジニア人生」を目指すすべてのエンジニアに対して、最適な「機会と場」を提供し続けます

② 社員価値

「自立と支え合い」に共感し、プロフェッショナルとして成長し続ける社員に対して、最適な「機会と場」を提供し続けます

③ 顧客価値

すべてのお客さまから信頼されるベストパートナーを目指し、最適な「人と技術」のサービスを提供し続けます

④ 株主価値

持続的な価値向上に基づく「健全な利益」を創出し、中長期的に株主還元を最大化します

⑤ 社会価値

生涯プロエンジニアという働き方の確立を通じて、日本に「プロフェッショナルな労働市場」を創り出す先駆者になります

CONTENTS

- | | | | |
|-----------|-----------------------------|-----------|----------------|
| 1 | 経営理念・経営方針 | 18 | 連結貸借対照表 |
| 3 | 財務ハイライト | 20 | 連結損益計算書 |
| 4 | トップメッセージ | 21 | 連結包括利益計算書 |
| 10 | メイテックが選ばれる理由 ～競争力の源泉～ | 22 | 連結株主資本等変動計算書 |
| 12 | コーポレート・ガバナンス | 23 | 連結キャッシュ・フロー計算書 |
| 14 | 5年間の主要連結財務データ | 24 | 会社概要 |
| 15 | 経営者による経営成績および 財政状態に関する分析 | | |

決算に関する詳細情報

2016年3月期決算の詳細については、有価証券報告書をご覧ください。
<http://www.meitec.co.jp/ir/document/securities.html>

業績予想及び将来の予測に関する注意事項

当社グループが公表する業績予想、見通し、計画、戦略等のうち、歴史的事実以外のものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは公表日現在で入手可能な情報による当社の判断及び仮定に基づいています。

実際の業績や成果等は、さまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おください。

ウェブサイト情報

メイテックは、主要経営指標や月別稼働率、決算報告書、四半期報告書及び業績修正のお知らせ等、最新の情報をウェブサイトにて開示しています。

主な内容

- ・ 経営成績(メイテック及びメイテックフィルダーズの月別稼働率等)
- ・ 株価
- ・ 財務成績及び決算発表
- ・ アニュアルレポート

メイテックでは、新しい情報が当社ウェブサイト追加された際、メーリングリストの登録者にe-mailでお知らせするサービスを提供しています。

詳細は以下のURLをご参照ください。

<http://www.meitec.co.jp/ir/>

財務ハイライト

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

| | 百万円 | | |
|-----------------|----------|----------|----------|
| | 2014 | 2015 | 2016 |
| 売上高 | ¥ 74,906 | ¥ 82,136 | ¥ 87,888 |
| 営業利益 | 6,979 | 9,540 | 10,874 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 3,973 | 3,659 | 8,083 |

| 3月31日現在 | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| | 2014 | 2015 | 2016 |
| 総資産 | 61,445 | 65,098 | 64,468 |
| 純資産 | 36,188 | 37,565 | 37,605 |

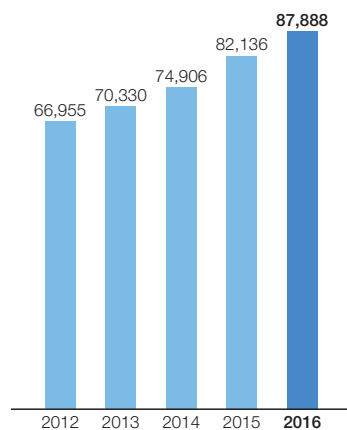
| 1株当たり | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| | 円 | | |
| 純資産額 | ¥1,182.84 | ¥1,238.77 | ¥1,278.59 |
| 配当金 | 72.00 | 111.00 | 144.00 |
| 当期純利益(注) | 128.30 | 120.11 | 269.24 |

(注) 1株当たり当期純利益は、期中発行済株式数に基づいて算出しております。

| | % | | |
|-----------------|------|------|------|
| 株主資本当期純利益率(ROE) | 10.7 | 9.9 | 21.5 |
| 自己資本比率 | 58.8 | 57.6 | 58.2 |
| 配当性向 | 56.1 | 92.4 | 53.5 |

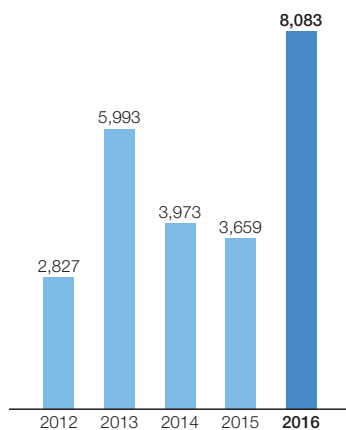
売上高

(百万円)



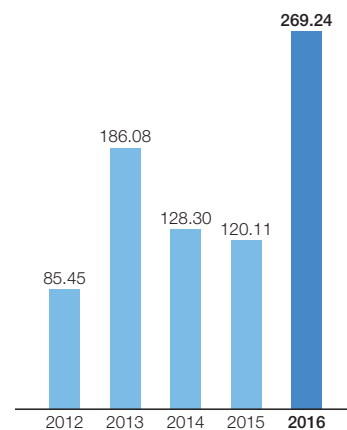
親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



1株当たり当期純利益

(円)



トップメッセージ



一社でも多くのお客さまに、
一人でも多くのエンジニアに、
メイテックグループを活用いただき、
感動や喜びを実感できる
「機会と場」の拡大を目指します。

2016年度がスタートし、メイテックグループは、「グループ中期経営計画2014-2016」の最終年度を迎えますが、価値創造のリーディングカンパニーとして、未来に向けて持続的に成長し続ける企業グループを目指していきます。

代表取締役社長
メイテックグループCEO

國分 秀世



売上高は過去最高を記録。

当期純利益は、約10億円の特別利益を計上したため、大幅増益となりました。

グループ連結の業績は、主要顧客である大手製造業が技術開発投資を持続されたため、エンジニア派遣事業が業績をけん引し、売上高は前年同期比7.0%増収の878億88百万円、営業利益は14.0%増益の108億74百万円、経常利益は12.5%増益の108億45百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期が約36億円の特別損失に対し、当期は約10億円の特別利益で大きく損益が改善したため、大幅増益の80億83百万円となりました。

メイテック単体の業績は、稼働人員数の増加により、売上高は前年同期比6.5%増収の688億78百万円、営業利益は14.3%増益の90億61百万円、当期純利益は、約10億円の特別利益計上により大幅増益の73億91百万円となりました。メイテックフィルダーズの業績につきましては、メイテック同様、稼働人員数の増加により、売上高は前年同期比11.9%増収の133億27百万円、営業利益は12.2%増益の12億4百万円、当期純利益は21.2%増益の7億86百万円となりました。

高水準の「稼働率と対価」を維持・向上しながらエンジニア社員数を増員していくことが成長の鍵となります。

2016年3月末のメイテックグループのエンジニア社員数は、前年3月末比+380名、+4.8%増加の8,280名となりました。なお、2016年4月1日時点のエンジニア社員数は、過去最高の8,789名となり、リーマンショック以降、オーガニックな増員が進められています。

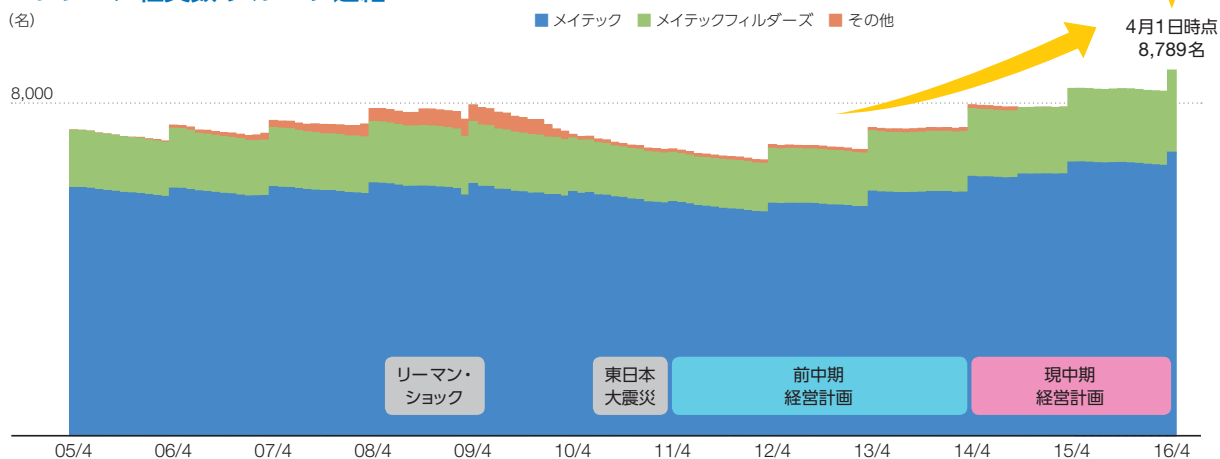
メイテック単体のエンジニア社員数は、4月1日に新卒エンジニア社員338名を迎え、過去最高の6,814名、メイテックフィルダーズは、新卒エンジニア社員182名を迎え、過去最高の1,975名となりました。メイテック、メイテックフィルダーズ共に、新卒エンジニア社員が入社した時点で、一旦は中期経営計画で掲げた、2017年3月末目標のエンジニア社員数を達成していますが、今後1年間で中途採用と退職率低減を両立していくことが目標達成の鍵となります。

2016年3月期については、エンジニア採用市場の採用意欲は高止まりしており、極めて厳しい状況でした。

メイテックの中途採用は、大手メーカーも採用枠を増加する中、採用基準を保持したため、応募者確保に苦戦し、期初予想比34名減少の156名となりました。新卒採用は、企業求人数の増加、採用活動の早期化の影響はあったものの、新卒世代の傾向を念頭に置いた様々な施策が功を奏し、期初予想比28名増加の338名となりました。また、退職率は3.9%と、引き続き低い水準で推移したことも、増員に大きく寄与しています。しかし、採用率は6.9%に低下しており、増員は進んだものの、伸び率は低下しているため、大きな課題と認識しています。

一方、メイテックフィルダーズの中途採用は、応募者確保の工夫など様々な施策が功を奏し、期初予想比32名増加の137名となりました。新卒採用は、期初予想比8名減少の182名となりました。採用率は17.9%となり、退職率は7.5%と一定の水準で推移したことから、前年同様、順調に増員できました。

エンジニア社員数 グループ連結





堅調な受注環境の下、新卒・既存ともエンジニア社員の配属が順調に進められました。

今期は、「エンジニア社員数の増員」×「高い稼働率の維持」を達成することができたため、稼働人員数は順調に伸びています。当社では、月350件を超える新規受注件数であれば堅調、200件を下回る水準は危険、と判断してきました。足元は製造業のお客さまが長い視点で技術開発投資を進められているため、月350件を超える水準を維持しており、堅調に推移していると認識しています。

今後も継続して、エンジニアのキャリアアップにつながる受注案件を獲得し、戦略的にローテーションを図りつつ、早期配属を行っていくことで、稼働人員数を着実に伸ばしてまいります。同時に、需要と供給の関係に流されることなく、エンジニア一人ひとりが、高い市場価値をお客さまに訴求し、確実にアウトプットを出し続けられる環境を拡大し続けていくことで、確実に対価を獲得できる状態、「適正対価の獲得」にも努めてまいります。

中期経営計画3年目、2017年3月期の業績予想は、売上高は過去最高の905億円を見込みます。

2017年3月期のグループ連結の業績予想については、売上高は前年同期比3.0%増収、過去最高の905億円、営業利益は前年同期比5.3%減益の103億円としました。営業利益が前年同期比で減少していますが、原価と販管費の増加を見込んでいるためです。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年に計上した特別利益

が消失するため、前年同期比13.4%減益の70億円となりましたが、中期経営計画3年目の目標である60億円を超えるレベルです。

メイテック単体の業績予想は、売上高は前年同期比1.9%増収、過去最高の702億円、営業利益は前年同期比6.2%減益の85億円を予想しています。減益の背景は、

原価と販管費の増加によるものです。原価が増加する主な要因は、エンジニア社員数の増加です。販管費の増加は、採用費の増加や既存システムの更改等によるシステム関連費用、外形標準課税の影響等が主な要因となります。なお、前年の稼働率が非常に高かったことを主因として、稼働率の前提条件を前年同期比0.5%減少としています。これは、原価率が上昇する要因となりますが、従来同様、稼働率向上のみに注目した稼働・配属は行いません。当期純利益の予想は、前年に計上した約10億円の特別利益の影響がなくなるため、前年同期比14.8%減益の63億円としました。

メイテックフィルダーズの業績予想は、過去最高の売上高142億円、営業利益は前年同期比0.4%減益の12億円を予想しています。これもメイテック同様、原価の増加と販管

費の増加を見込んでいるためです。採用数を前年同期比28名増やすことを背景に、稼働率は前年同期比1.3%の減少を見込んでおり、原価率が上昇する要因となっています。

採用計画については、エンジニアの人材不足から企業の求人意欲はますます上昇し、市場の採用ニーズはまったく衰えないことから、非常に厳しい環境が継続すると予想する中で、2017年4月入社の新卒採用目標は、メイテック、メイテックフィルダーズあわせて540名としました。中途採用目標は、応募者確保が非常に難しい局面が続くことを想定して、前年同期比25名増を見込んでいます。メイテック、メイテックフィルダーズとも、設計・開発部門で最先端技術や最新の製品開発に携わる人材派遣が中心となるため、厳しい採用環境であっても従来と変わらず、採用基準を保持する考えです。

利益配分の基本方針は変更せず、引き続き総還元性向100%以内を徹底します。

2016年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益が業績予想を上回ったため、期末配当は基本方針に従って見直し、公表予想の1株当たり63円から81円へ引き上げます。なお、中間配当63円とあわせて年間配当は144円です。2017年3月期の予想は基本方針に基づき「普通配当と自己株式取得」とし「総還元性向100%以内」とします。そして、親会社株主に帰属する当期純利益の予想70億円に対して、投資家の皆さまとの対話を踏まえて配当と自己株式取得の配分は半々とし、普通配当は約35億円で1株当たり120円、自己株式取得は35億円、合計70億円を予想としました。

今後も持続的に成長し続けられる企業グループであり続けることを目指し、企業価値向上に取り組んでまいります。引き続き、ご支援、ご理解の程、賜りますようお願い申し上げます。



メイテックが選ばれる理由 ~競争力の源泉~

選ばれて40年—

エンジニアの力を「技術力×人間力=総合力」としてとらえ、
業界最高品質のプロのエンジニア集団を輩出、
生涯プロエンジニア®として日本の製造業を支えています。

1. 生涯プロエンジニア®という働き方

メイテックでは、蓄積した技術市場情報をエンジニアに公開することで、彼ら自身が、今求められている市場ニーズやトレンド技術をいち早く把握しながら、求められるスキルを意識し、定年到達まで常に自らの価値を高め続けられるという、生涯プロエンジニア®という働き方を確立しています。

1974年の創業以来、メイテックは日本に「プロフェッショナルな労働市場」を創り出す先駆者として走り続けてきました。

2006年に最初の定年到達者を輩出して以降、2016年3月末には、定年に到達したエンジニアは171名(累計)となりました。

2. メイテックの市場価値とは?

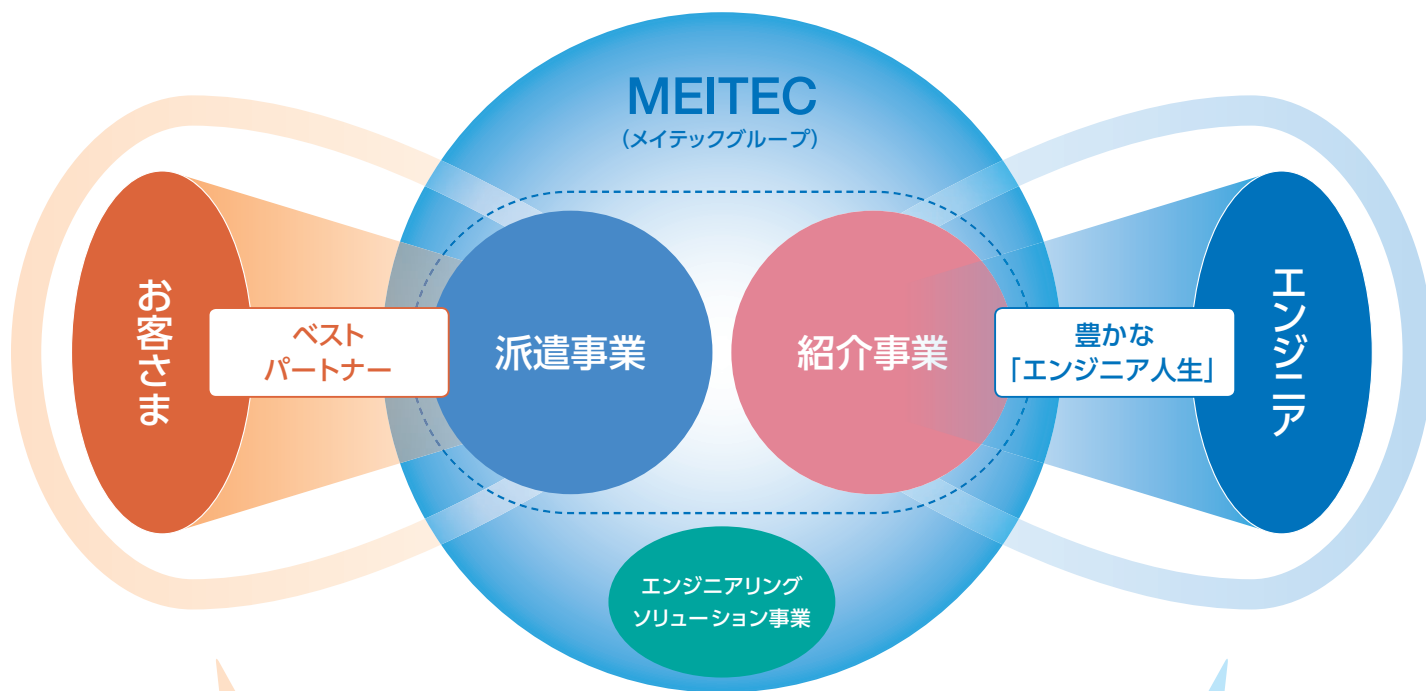
お客さまに対し、いかにプラスアルファの提案ができるか、よいアウトプットを生み出せるかを考え、自身の新しい可能性を切り拓いていく、こういったエンジニアたちのスタンスがプロ意識と技術を育てていきます。

そこには、未知の世界への探究心、好奇心、そして「必ずやり遂げる」という、プロエンジニアとしての魂が、ベースになっています。

40年間変わらず、付加価値を提供しようとする姿勢が、お客さまからの信頼という、大きな評価につながっています。

対価・単価(レート)推移 ※期末月時点の契約対価 (円/h)





お客さまからの言葉

メイテックのエンジニアは強気。
技術に自信があるから
本気でぶつかってくる。

「こうしたい」というこちら側の
イメージを外さず形にしてくれる。
想像力があるから技術力が生きる。

頼んでいないのに、
検討と検証を繰り返してくれる。
知らないうちに精度を高めてくれる。

意見、提案によって、
今までにない、
新しい風を吹き込んでくれる。

メイテックエンジニアの言葉

好奇心を持つこと、
持てるよう努力すること、
知識や世界は必ず広がる。

夢は社会にとって本当に役に立つ
技術者になること。
その日を目指して本気でやっていく。

目の前の仕事に真摯に取り組むこと、
長いエンジニア人生に求められる
大切な資質。

仕事をするうえで大切なのは
人と人との関わり。
やろうと思えば設計はひとりでもできる。
でも「仕事」はひとりじゃできない。
たくさんの人とつながって、
これからもモノづくりを続けたい。

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社グループでは、「共生と繁栄」をグループ経営理念として定め、その基本的概念を「メイテックグループが行うEO（エンジニアリングアウトソーシング）事業を通して経営資源（人・情報）を社会的に共有することにより、産業界と共に発展していく」と定めています。

経営理念に立脚した目指すべき姿に明記した5つの価値の持続的な向上を図るため、不断の努力により、当社グループに相応しい経営の監督と業務執行のバランスを追求すると共に、社会倫理に反する事なく健全・透明・公正で、かつ迅速・果断な意思決定を行う体制の整備等、コーポレートガバナンスの充実に取り組みま

す。また、監査役制度を基礎として、独立性を有する社外取締役・社外監査役の選任、社外取締役を委員長とする取締役会の諮問機関の設置等による監督機能を強化すると共に、執行役員制度の採用等による迅速かつ適正な意思決定を図り、実効性のあるコーポレートガバナンス体制の構築に努めます。

なお、当社は、当社にとって相応しい実効的な「コーポレートガバナンス：透明・公正かつ迅速・果断な意思決定を行うための仕組み」の実現を目的として、「メイテックグループ：コーポレートガバナンスに関する基本方針」を制定し、当社ウェブサイトに掲載しています。

「メイテックグループ：コーポレートガバナンスに関する基本方針」

日本語：<http://www.meitec.co.jp/company/principal/governance.html>

英語：<http://www.meitec.co.jp/e/company/principal/governance.html>

会社の機関の基本説明

1. 取締役・取締役会

当社の取締役会は取締役9名（うち社外取締役2名）で構成されています。原則として月1回開催し、当社グループの重要な業務執行の決定、取締役の職務執行の監督を行っており、社外取締役及び社外監査役の客観的、中立的な視点を通じて、適正な経営の意思決定及び監督の強化を図っています。また、当社は執行役員制度を採用し、COO（最高業務執行責任者）1名及び執行役員13名（うち男性13名）を任用しており、取締役会より授権された内容について、迅速かつ適正な意思決定を図っています。

2. 監査役・監査役会

当社の監査役会は、社外監査役3名（うち常勤社外監査役1名）で構成されています。原則として月1回開催し、監査役会監査計画の決定、各監査役の監査状況の報告、助言・勧告すべき事項の協議等を行っています。また、各監査役は、監査役会が定めた監査役監査規程、監査計画等に従い、取締役会への出席や業務及び財産の状況の調査等を通じ、取締役の職務執行の監査を行っています。

3. コーポレート・ガバナンス委員会

独立性、客観性を高めるために社外取締役を委員長として取締役全員で構成され、取締役会の監督機能を強化し、「取締役会の実効性評価」などに係る説明責任を強化するため、原則、半期に1回定期で（年2回）開催し、下記事項を協議し、必要に応じて協議結果等を取締役会宛に具申及び勧告を行っています。なお、監査役はオブザーブ参加できることとなっています。

- 取締役会の実効性に関する分析・評価
- コーポレート・ガバナンスに関する基本事項
- 社会的責任に関する基本事項
- メイテックグループ・ヘルプライン制度の運営・管理等に関する事項

4. 役員人事諮問委員会

独立性、客観性を高めるために社外取締役を委員長として代表取締役社長と社外取締役で構成され、取締役会の監督機能を強化し、「役員（取締役・監査役）の評価・候補指名・報酬」に係る説明責任を強化するため、年1回以上開催しています。なお、本委員会の内部には、CEO候補者選考協議会（従前のCEO指名委員会を発展的に統合）を設置しています。

取締役・監査役

| | 人数 | うち社外 | うち独立役員 | 定款上の員数 |
|-----|----|------|--------|--------|
| 取締役 | 9 | 2 | 2 | 22 |
| 監査役 | 3 | 3 | 3 | 4 |
| 合計 | 12 | 5 | 5 | 26 |

買収防衛策

敵対的買収防衛策である、いわゆるポイズンピル(毒薬条項)は導入していません。

当社グループは、「共生と繁栄」の経営理念に立脚し、エンジニア価値を起点に、5つの価値を最大化していくことで、ひいてはそれが買収防衛につながると考えています。

役員報酬

当社は取締役会において「取締役及び監査役の報酬等の額の算定方法・決定に関する方針」を定めています。報酬の決定方法、考え方、具体的な報酬額等につきましては、当社ウェブサイトでご確認ください。

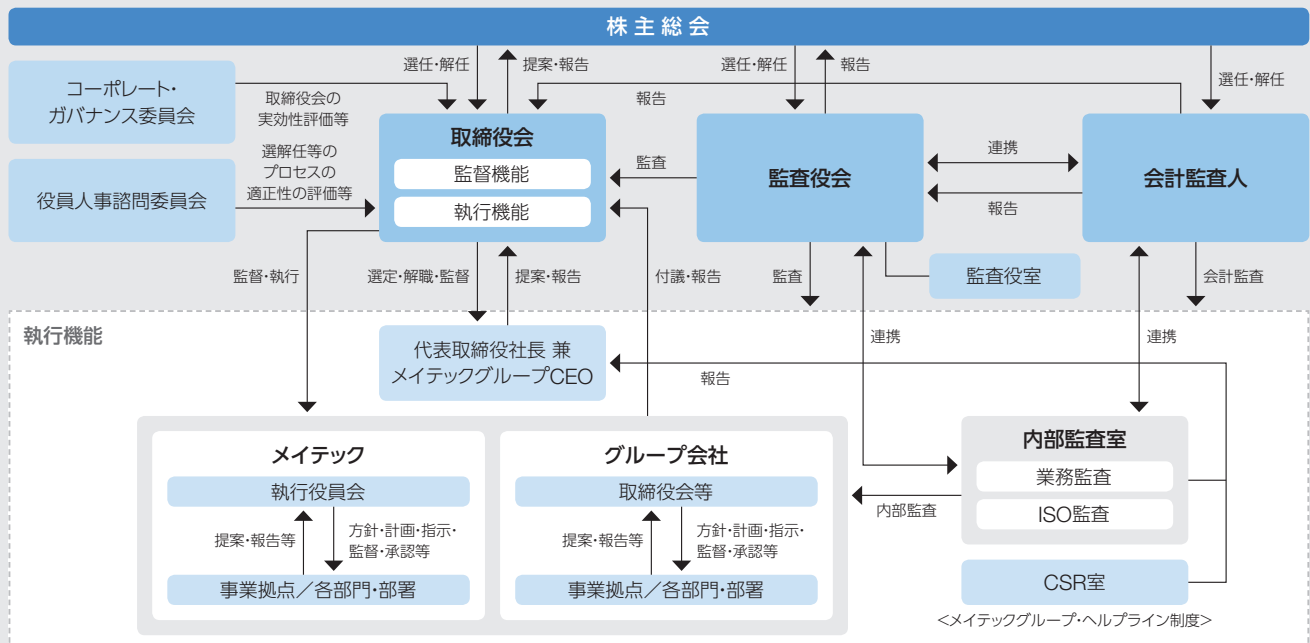
「メイテックグループ:コーポレートガバナンスに関する基本方針」

4.10. 役員報酬【原則3-1 (iii)、4-2】

日本語: <http://www.meitec.co.jp/company/principal/governance.html>

英語: <http://www.meitec.co.jp/e/company/principal/governance.html>

コーポレート・ガバナンス体制図



5年間の主要連結財務データ

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

(単位:千円)

| 事業年度 | 第39期 2012 | 第40期 2013 | 第41期 2014 | 第42期 2015 | 第43期 2016 |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------------|
| 売上高 | ¥66,955,318 | ¥70,330,667 | ¥74,906,020 | ¥82,136,046 | ¥87,888,926 |
| 売上原価 | 49,875,407 | 51,639,012 | 55,370,774 | 60,481,056 | 64,661,865 |
| 売上総利益 | 17,079,910 | 18,691,655 | 19,535,245 | 21,654,989 | 23,227,060 |
| 販売費及び一般管理費 | 11,629,618 | 12,337,497 | 12,556,019 | 12,114,265 | 12,352,273 |
| 営業利益 | 5,450,292 | 6,354,158 | 6,979,226 | 9,540,724 | 10,874,786 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 2,827,479 | 5,993,183 | 3,973,792 | 3,659,870 | 8,083,761 |

事業年度末

| | | | | | |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------------|
| 総資産額 | ¥57,559,026 | ¥58,002,176 | ¥61,445,775 | ¥65,098,321 | ¥64,468,247 |
| 流動資産合計 | 40,643,560 | 41,802,406 | 44,998,707 | 51,639,617 | 53,104,848 |
| 有形固定資産合計 | 11,257,485 | 10,908,556 | 10,555,438 | 7,207,847 | 5,721,215 |
| 負債合計 | 20,349,688 | 19,579,578 | 25,257,206 | 27,532,663 | 26,862,822 |
| 純資産額 | 37,209,338 | 38,422,597 | 36,188,569 | 37,565,657 | 37,605,424 |

1株当たり情報(円)

| | | | | | |
|--------------|----------|----------|----------|----------|-----------------|
| 1株当たり当期純利益金額 | ¥85.45 | ¥186.08 | ¥128.30 | ¥120.11 | ¥269.24 |
| 配当金 | 58.50 | 99.00 | 72.00 | 111.00 | 144.00 |
| 1株当たり純資産額 | 1,135.09 | 1,229.61 | 1,182.84 | 1,238.77 | 1,278.59 |

レシオ

| | | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|--------|---------------|
| 売上高総利益率 | 25.51% | 26.58% | 26.08% | 26.36% | 26.43% |
| 売上高営業利益率 | 8.14 | 9.03 | 9.32 | 11.62 | 12.37 |
| 売上高当期純利益率 | 4.22 | 8.52 | 5.31 | 4.46 | 9.20 |
| 自己資本利益率 | 7.64 | 15.87 | 10.66 | 9.93 | 21.53 |
| 流動比率 | 364.00 | 431.68 | 357.43 | 326.89 | 389.04 |
| 自己資本比率 | 64.49 | 66.13 | 58.82 | 57.63 | 58.23 |
| 配当性向 | 68.5 | 53.2 | 56.1 | 92.4 | 53.5 |
| 株価収益率(倍) | 19.53 | 12.59 | 22.83 | 33.50 | 14.61 |

その他の情報

| | | | | | |
|-------------|------------|------------|------------|------------|-------------------|
| 発行済み株式総数(株) | 34,700,000 | 33,000,000 | 32,500,000 | 32,200,000 | 31,300,000 |
| 株価(円) | 1,669 | 2,343 | 2,930 | 4,025 | 3,935 |
| 株主数(名) | 6,003 | 7,160 | 5,586 | 5,176 | 5,343 |
| 従業員数(単体)(名) | 5,822 | 6,114 | 6,341 | 6,786 | 6,972 |
| 従業員数(連結)(名) | 7,445 | 7,872 | 8,270 | 8,725 | 9,105 |

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 従業員数は、就業人員数を表示しております。

3 2012年3月31日に終了した各事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果が無かったため記載しておりません。また、2013年、2014年、2015年及び2016年3月31日に終了した各事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

経営者による経営成績および財政状態に関する分析

経営環境の概要

当連結会計年度(2015年4月1日～2016年3月31日)におけるわが国経済は、経済財政政策などを背景に、企業収益の改善による設備投資の増加基調などがみられ、景気は緩やかな回復傾向にありましたが、中国経済や新興国市場の減速、今年初からの円高の進行など、先行きは不透明な状況となりました。

当連結会計年度においては、当社の主要顧客である大手製造業各社で、景況に左右されることなく、次代を見据えた技術開発投資を持続される企業が多く見られました。かかる状況下、採用に尽力して、エンジニア社員の増員を図ると共に、客先業務の配属を進め、稼働人員数が順調に増加しました。

連結売上高

前年同期比57億52百万円(7.0%)増収の878億88百万円となりました。

連結売上原価

エンジニア社員の増員による労務費増加等を主因に前年同期比41億80百万円(6.9%)増加の646億61百万円となりました。

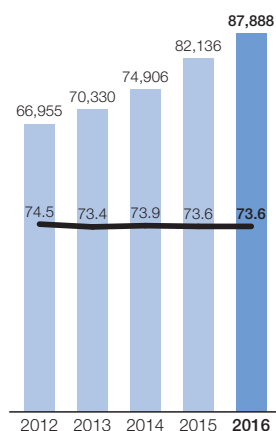
連結販売費及び一般管理費

前年同期比2億38百万円(1.9%)増加の123億52百万円となりました。

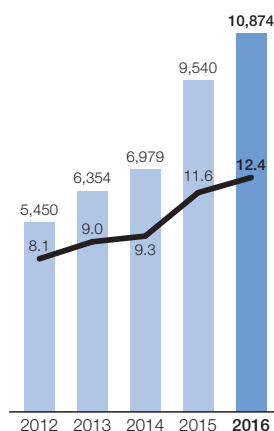
連結営業利益

前年同期比13億34百万円(13.9%)増益の108億74百万円となりました。

■ 連結売上高(百万円)
— 連結売上原価率(%)



■ 連結営業利益(百万円)
— 売上高営業利益率(%)



連結経常利益

前年同期比12億2百万円(12.4%)増益の108億45百万円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益

前連結会計年度で研修施設等の利用停止等で約36億円の特別損失を計上しましたが、当連結会計年度で当該施設すべての売却が完了し、約10億円の特別利益を計上しました。

以上のことから、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比44億23百万円(120.8%)増益の80億83百万円となりました。

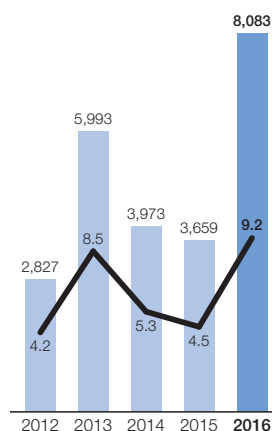
事業セグメント別業績の概要

● 派遣事業

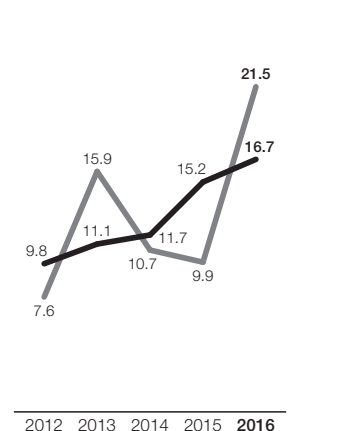
連結売上高の9割超を占める派遣事業、特に中核事業のエンジニア派遣事業は稼働人員数の増加を主因に、売上高は前年同期比52億67百万円(6.6%)増収の846億14百万円、営業利益は前年同期比11億95百万円(13.0%)増益の103億41百万円となりました。

当社単体の稼働率(全体)は、2015年4月に入社した299名の新卒エンジニア社員の客先への配属が順調に進んだほか、既存のエンジニア社員においても客先業務への配属が引き続き順調であったことから、当社単体の稼働率(全体)は97.2%(前年同期96.1%)と高い水準で推移しました。なお、年間通して受注環境は堅調でしたが、稼働時間は、一部顧客における時間外労働の減少や有給休暇取得の増加等を要因として、8.83h/day(前年同期8.93h/day)と低下しました。

■ 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)
— 売上高当期純利益率(%)



— 総資本経常利益率(ROA)(%)
— 株主資本当期純利益率(ROE)(%)



経営者による経営成績および財政状態に関する分析

● 紹介事業

紹介事業はエンジニアに特化した職業紹介事業および情報ポータルサイト事業を行っています。

紹介事業の売上高は前年同期比1億59百万円(11.9%)増収の14億99百万円、営業利益は前年同期比79百万円(20.5%)増益の4億67百万円となりました。

メイテックネクストは、紹介決定数が引き続き増加し、増収増益となりました。

● エンジニアリングソリューション事業

エンジニアリングソリューション事業はプリント基板設計等の技術支援事業を行っています。

エンジニアリングソリューション事業の売上高は、前年同期比3億47百万円(20.9%)増収の20億5百万円、営業利益は前年同期比57百万円(479.4%)増益の69百万円となりました。

次期の見通し

● 2017年3月期の連結業績予想

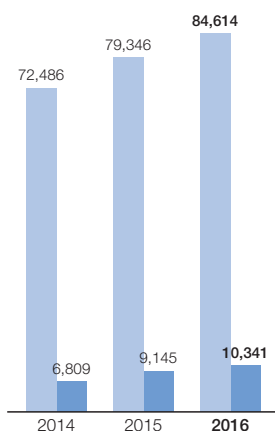
(百万円未満切捨て)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 |
|---------------|--------|--------|--------|-------------------------|
| 第2四半期累計期間の予想 | 43,800 | 4,600 | 4,600 | 3,000 |
| 前年同期比増減額 | +1,656 | △144 | △123 | △798 |
| 2017年3月期の通期予想 | 90,500 | 10,300 | 10,300 | 7,000 |
| 前年同期比増減額 | +2,611 | △574 | △545 | △1,083 |
| 第2四半期累計期間の実績 | 42,143 | 4,744 | 4,723 | 3,798 |
| 2016年3月期の通期実績 | 87,888 | 10,874 | 10,845 | 8,083 |

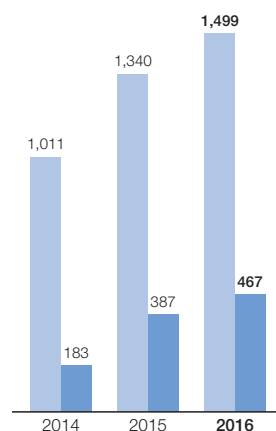
緩やかな景気回復の持続を前提に、積極採用によるエンジニア社員の増員とグループ連携営業の拡大を見込み、2017年3月期の連結業績予想を公表しています。

なお、通期の連結業績予想は、売上高は905億円(当連結会計年度比3.0%増)、連結営業利益は103億円(同5.3%減)、連結経常利益は103億円(同5.0%減)としました。親会社株主に帰属する当期純利益は70億円(同13.4%減)を予想します。

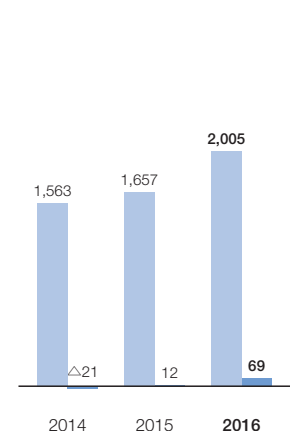
派遣事業(百万円)
■ 売上高 ■ 営業利益



紹介事業(百万円)
■ 売上高 ■ 営業利益



エンジニアリング
ソリューション事業(百万円)
■ 売上高 ■ 営業利益



財政状態に関する分析

●資産の状況

当連結会計年度末(2016年3月31日)の資産合計は、前連結会計年度末(2015年3月31日)比で6億30百万円減少し、644億68百万円となりました。これは、流動資産が前連結会計年度末比で14億65百万円増加し、固定資産が前連結会計年度末比で20億95百万円の減少となったことが要因です。

なお、流動資産の増加は受取手形及び売掛金、現金及び預金の増加などが主因であり、固定資産の減少は利用停止済みの研修施設の売却などが主因です。

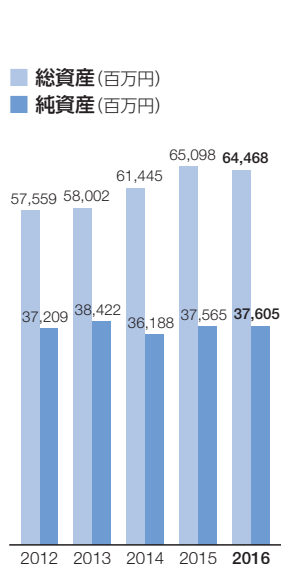
●負債の状況

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末比で6億69百万円減少し、268億62百万円となりました。これは、流動負債が前連結会計年度末比で21億47百万円減少し、固定負債が前連結会計年度末比で14億77百万円の増加となったことが要因です。

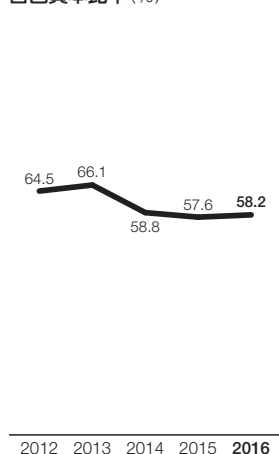
なお、流動負債の減少は未払消費税等及び未払法人税等の減少などが主因であり、固定負債の増加は退職給付に係る負債の増加などが主因です。

●純資産の状況

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末比で39百万円増加し、376億5百万円となりました。これは、当期の経営成績の結果による親会社株主に帰属する当期純利益の獲得に、配当金の支払及び自己株式の取得の影響が相殺されたことなどが主因です。



自己資本比率 (%)



●キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末比6億40百万円増加の354億13百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は、前連結会計年度比15億23百万円減少の69億10百万円となりました。

得られた資金の主な内訳は、税金等調整前当期純利益などによるものです。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

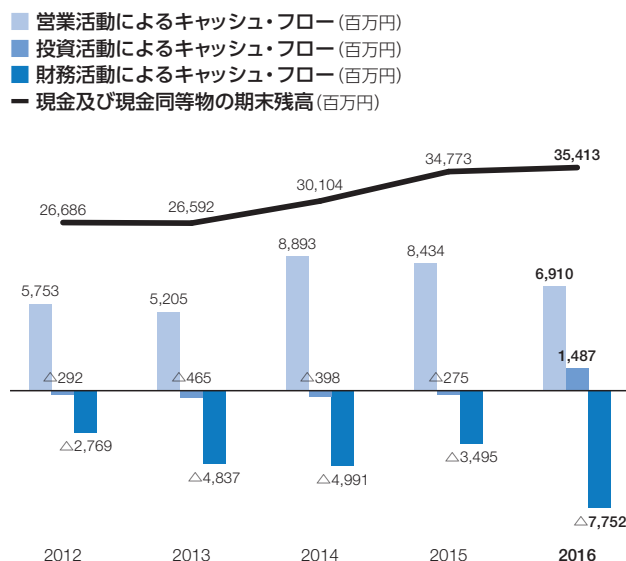
投資活動により得られた資金は、14億87百万円(前連結会計年度は2億75百万円の使用)となりました。

得られた資金の主な内訳は、有形固定資産の売却による収入20億93百万円です。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用された資金は、前連結会計年度比42億56百万円増加の77億52百万円となりました。

使用した資金の主な内訳は、自己株式の取得による支出38億8百万円と配当金の支払額39億32百万円です。



連結貸借対照表

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

(単位:千円)

| 資産の部 | 2015 | 2016 |
|---------------|------------|------------|
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 34,773,112 | 35,413,980 |
| 受取手形及び売掛金 | 12,858,068 | 13,823,668 |
| 仕掛品 | 292,824 | 253,121 |
| 繰延税金資産 | 2,495,163 | 2,442,144 |
| その他 | 1,223,399 | 1,172,592 |
| 貸倒引当金 | △2,950 | △659 |
| 流動資産合計 | 51,639,617 | 53,104,848 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,069,807 | 3,932,414 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 272,405 | 267,406 |
| 土地 | 2,859,225 | 1,487,374 |
| その他(純額) | 6,409 | 34,020 |
| 有形固定資産合計 | 7,207,847 | 5,721,215 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 481,749 | 453,808 |
| その他 | 219,310 | 291,065 |
| 無形固定資産合計 | 701,060 | 744,873 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 80,669 | 70,621 |
| 退職給付に係る資産 | 13,948 | 14,234 |
| 繰延税金資産 | 4,886,633 | 4,174,510 |
| その他 | 595,420 | 664,059 |
| 貸倒引当金 | △26,875 | △26,116 |
| 投資その他の資産合計 | 5,549,796 | 4,897,309 |
| 固定資産合計 | 13,458,703 | 11,363,398 |
| 資産合計 | 65,098,321 | 64,468,247 |

財務諸表の詳細並びに独立監査人の監査報告書などについては、有価証券報告書をご覧ください。

<http://www.meitec.co.jp/ir/document/securities.html>

(単位:千円)

| 負債の部 | 2015 | 2016 |
|---------------|------------|------------|
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 145,185 | 236,270 |
| 未払費用 | 3,315,265 | 3,009,652 |
| 未払法人税等 | 2,189,512 | 1,262,313 |
| 未払消費税等 | 3,083,257 | 1,412,475 |
| 役員賞与引当金 | 80,509 | 168,466 |
| 賞与引当金 | 5,955,984 | 6,446,314 |
| 関係会社整理損失引当金 | 5,859 | — |
| その他 | 1,021,872 | 1,114,810 |
| 流動負債合計 | 15,797,445 | 13,650,303 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 11,709,194 | 13,195,915 |
| その他 | 26,023 | 16,603 |
| 固定負債合計 | 11,735,218 | 13,212,519 |
| 負債合計 | 27,532,663 | 26,862,822 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 16,825,881 | 16,825,881 |
| 資本剰余金 | 7,275,447 | 4,491,970 |
| 利益剰余金 | 20,488,993 | 24,645,186 |
| 自己株式 | △4,970,365 | △5,989,693 |
| 株主資本合計 | 39,619,957 | 39,973,345 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 土地再評価差額金 | △646,046 | △662,440 |
| 為替換算調整勘定 | △579 | 8,833 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,456,612 | △1,776,060 |
| その他の包括利益累計額合計 | △2,103,238 | △2,429,668 |
| 非支配株主持分 | 48,938 | 61,747 |
| 純資産合計 | 37,565,657 | 37,605,424 |
| 負債純資産合計 | 65,098,321 | 64,468,247 |

連結損益計算書

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

(単位:千円)

| | 2015 | 2016 |
|-----------------|------------|------------|
| 売上高 | 82,136,046 | 87,888,926 |
| 売上原価 | 60,481,056 | 64,661,865 |
| 売上総利益 | 21,654,989 | 23,227,060 |
| 販売費及び一般管理費 | 12,114,265 | 12,352,273 |
| 営業利益 | 9,540,724 | 10,874,786 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7,534 | 10,486 |
| 受取配当金 | 1,629 | 75 |
| 受取賃貸料 | 6,884 | 4,088 |
| 貯蔵品売却益 | 67,664 | — |
| その他 | 29,529 | 14,891 |
| 営業外収益合計 | 113,241 | 29,540 |
| 営業外費用 | | |
| 投資事業組合運用損 | 1,035 | 10,032 |
| コミットメントフィー | 4,260 | 3,444 |
| 支払手数料 | 3,859 | 5,351 |
| 租税公課 | — | 26,135 |
| その他 | 1,750 | 13,894 |
| 営業外費用合計 | 10,906 | 58,858 |
| 経常利益 | 9,643,059 | 10,845,468 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 1,084,965 |
| 投資有価証券売却益 | 12,470 | — |
| ゴルフ会員権売却益 | 7,550 | — |
| 特別利益合計 | 20,020 | 1,084,965 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 219 | 9,505 |
| 固定資産除却損 | 5,229 | 3,838 |
| 減損損失 | 3,615,115 | 32,815 |
| 関係会社整理損 | — | 18,910 |
| その他 | 1,346 | — |
| 特別損失合計 | 3,621,910 | 65,069 |
| 税金等調整前当期純利益 | 6,041,169 | 11,865,364 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,660,788 | 2,891,197 |
| 法人税等調整額 | △1,282,515 | 877,567 |
| 法人税等合計 | 2,378,272 | 3,768,764 |
| 当期純利益 | 3,662,896 | 8,096,600 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 3,025 | 12,838 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 3,659,870 | 8,083,761 |

連結包括利益計算書

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

(単位:千円)

| | 2015 | 2016 |
|--------------|-----------|------------------|
| 当期純利益 | 3,662,896 | 8,096,600 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △3,041 | — |
| 為替換算調整勘定 | 6,207 | 6,016 |
| 退職給付に係る調整額 | △181,411 | △319,447 |
| その他の包括利益合計 | △178,246 | △313,431 |
| 包括利益 | 3,484,650 | 7,783,168 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 3,481,743 | 7,770,295 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 2,907 | 12,872 |

連結株主資本等変動計算書

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

2015

| | (単位:千円) | | | | | 株主資本合計 |
|---------------------|------------|-----------|------------|------------|------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本 | |
| 当期首残高 | 16,825,881 | 8,054,223 | 18,264,262 | △4,844,452 | | 38,299,915 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | 1,379,045 | | | 1,379,045 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 16,825,881 | 8,054,223 | 19,643,307 | △4,844,452 | | 39,678,960 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △2,581,917 | | | △2,581,917 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 3,659,870 | | | 3,659,870 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | △232,266 | | | △232,266 |
| 自己株式の取得 | | | | △904,689 | | △904,689 |
| 自己株式の消却 | | △778,775 | | 778,775 | | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | △778,775 | 845,685 | △125,913 | | △59,003 |
| 当期末残高 | 16,825,881 | 7,275,447 | 20,488,993 | △4,970,365 | | 39,619,957 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|----------|--------------|---------------|---------|------------|
| | その他有価証券評価差額金 | 土地再評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 3,041 | △878,313 | △6,905 | △1,275,200 | △2,157,377 | 46,031 | 36,188,569 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | | | 1,379,045 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 3,041 | △878,313 | △6,905 | △1,275,200 | △2,157,377 | 46,031 | 37,567,614 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △2,581,917 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | 3,659,870 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | | | | | △232,266 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △904,689 |
| 自己株式の消却 | | | | | | | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △3,041 | 232,266 | 6,325 | △181,411 | 54,139 | 2,907 | 57,046 |
| 当期変動額合計 | △3,041 | 232,266 | 6,325 | △181,411 | 54,139 | 2,907 | △1,956 |
| 当期末残高 | — | △646,046 | △579 | △1,456,612 | △2,103,238 | 48,938 | 37,565,657 |

2016

| | (単位:千円) | | | | | 株主資本合計 |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|--------|------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本 | |
| 当期首残高 | 16,825,881 | 7,275,447 | 20,488,993 | △4,970,365 | | 39,619,957 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △3,937,063 | | | △3,937,063 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 8,083,761 | | | 8,083,761 |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | 16,394 | | | 16,394 |
| 自己株式の取得 | | | | △3,802,804 | | △3,802,804 |
| 自己株式の消却 | | △2,783,477 | | 2,783,477 | | — |
| 連結範囲の変動 | | | | | △6,899 | △6,899 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | △2,783,477 | 4,156,192 | △1,019,327 | | 353,388 |
| 当期末残高 | 16,825,881 | 4,491,970 | 24,645,186 | △5,989,693 | | 39,973,345 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|-------------|----------|--------------|---------------|--------|------------|-------|
| | 土地再評価差額金 | 為替換算調整勘定 | 退職給付に係る調整累計額 | その他の包括利益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | △646,046 | △579 | △1,456,612 | △2,103,238 | 48,938 | 37,565,657 | |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △3,937,063 | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | 8,083,761 | |
| 土地再評価差額金の取崩 | | | | | | 16,394 | |
| 自己株式の取得 | | | | | | △3,802,804 | |
| 自己株式の消却 | | | | | | — | |
| 連結範囲の変動 | | | | | | △6,899 | |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △16,394 | 9,412 | △319,447 | △326,429 | 12,808 | △313,621 | |
| 当期変動額合計 | △16,394 | 9,412 | △319,447 | △326,429 | 12,808 | 39,766 | |
| 当期末残高 | △662,440 | 8,833 | △1,776,060 | △2,429,668 | 61,747 | 37,605,424 | |

連結キャッシュ・フロー計算書

株式会社メイテックおよび連結子会社
3月31日に終了した各事業年度

(単位:千円)

| | 2015 | 2016 |
|--------------------------------|------------|------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 6,041,169 | 11,865,364 |
| 減価償却費 | 548,253 | 454,521 |
| 減損損失 | 3,615,115 | 32,815 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △4,192 | △3,050 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △4,490 | 87,957 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 635,313 | 485,792 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 1,061,089 | 1,053,351 |
| 退職給付に係る資産の増減額(△は増加) | △13,948 | △285 |
| 関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少) | △64,958 | △5,859 |
| 受取利息及び受取配当金 | △9,163 | △10,561 |
| 固定資産除却損 | 5,229 | 3,838 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △12,470 | — |
| 固定資産売却損益(△は益) | 219 | △1,075,459 |
| 投資事業組合運用損益(△は益) | 1,035 | 10,032 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △1,560,720 | △965,613 |
| ゴルフ会員権売却損益(△は益) | △7,550 | — |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △49,721 | 39,702 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | △248,586 | 7,841 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 47,512 | 91,085 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | 268,203 | 149,841 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | 2,333,053 | △1,670,766 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | 5,661 | 106,471 |
| その他 | 13,424 | 92,620 |
| 小計 | 12,599,476 | 10,749,639 |
| 利息及び配当金の受取額 | 9,107 | 10,120 |
| 法人税等の支払額 | △4,197,361 | △3,898,632 |
| 法人税等の還付額 | 23,403 | 49,846 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 8,434,626 | 6,910,973 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △112,866 | △186,720 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 677 | 2,093,944 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △236,782 | △224,442 |
| 固定資産の除却による支出 | △309 | △108,024 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 59,972 | — |
| 投資その他の資産の増減額(△は増加) | 13,907 | △86,946 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △275,401 | 1,487,809 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △908,548 | △3,808,116 |
| 配当金の支払額 | △2,580,502 | △3,932,533 |
| その他 | △6,824 | △12,191 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △3,495,875 | △7,752,841 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 5,531 | △2,138 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 4,668,881 | 643,802 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 30,104,230 | 34,773,112 |
| 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | — | △2,934 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 34,773,112 | 35,413,980 |

会社概要

株式会社メイテック (2016年3月31日現在)

本社所在地

東京本社 / 〒107-0052
東京都港区赤坂8-5-26 赤坂DSビル
Tel (03) 5413-2600 (代)

本店所在地

名古屋 / 〒451-0075
名古屋市西区康生通2-20-1
Tel (052) 532-1811 (代)

設立

昭和49年(1974年)7月17日

普通株式

発行可能株式総数: 142,854,400 株
発行済株式の総数: 31,300,000 株

株主数

6,083名

社員数(連結)

9,105名

事業内容

大手製造会社での最先端技術研究開発分野における技術者派遣業

連結子会社

派遣事業

株式会社メイテックフィルダーズ
株式会社メイテックキャスト
株式会社メイテックEX

紹介事業

株式会社メイテックネクスト
株式会社all engineer.jp
明達科(上海)科技有限公司
明達科(上海)人才服务有限公司

エンジニアリングソリューション事業

アポロ技研株式会社

役員一覧 (2016年6月23日現在)

取締役

國分 秀世

代表取締役社長
メイテックグループCEO
メイテックCEO兼COO: 内部監査室・CSR室 担当

米田 洋

取締役執行役員: マーケット開発推進室、
(株)メイテックフィルダーズ・(株)メイテックキャスト 担当

中島 清雅

取締役執行役員: キャリアサポート部門統括、グループ採用部門統括、
(株)all engineer.jp 担当

上村 正人

取締役執行役員: 人事部門統括、経理部・経営管理部 担当

永坂 英宣

取締役執行役員: 業務企画部門・営業管理部、
アポロ技研(株) 担当

小笠原 昭喜

取締役執行役員: 事業部門統括、(株)メイテックEX 担当

六郷 裕之

取締役: (株)メイテックネクスト・明達科(中国) 担当

清水 三七雄

社外取締役 (独立役員)

岸 博幸

社外取締役 (独立役員)

監査役

深井 慎

常勤社外監査役 (独立役員)

齋藤 雅俊

非常勤社外監査役 (独立役員)

渡部 博

非常勤社外監査役 (独立役員)

執行役員

中川 弘市

執行役員: 中日本エリア・西日本エリア 担当 (統括)

矢部 哲也

執行役員: グループ採用部門 担当

山田 浩

執行役員: 東日本エリア 担当 (統括)

伊藤 圭介

執行役員: 人事企画部・人事部 担当

蜂谷 勇治

執行役員: 社長室・広報部 担当

鈴木 寿彦

執行役員: 神奈川・静岡エリア 担当 (統括)

松井 義和

執行役員: 事業推進室 担当

渡辺 真司

執行役員: キャリアサポート部門 担当

人と技術で次代を拓く

MEITEC

メイテックグループ

IRに関するお問い合わせ

株式会社メイテック 経営管理部

Tel: 03-5413-0131 Mail: ir@meitec.com

